

# 光星ナイン練習 元気いっぱい

## 壮行式 甲子園へ気合



室内練習場で打撃練習に励む八学光星ナイン。24日、八戸市美保野

22日の第104回全国高校野球選手権青森大会決勝で接戦を制し、3年ぶり11回目の夏の甲子園出場を決めた八学光星が24日、八戸市の同校グラウンドなどで練習を再開した。選手たちは疲れた様子もなく、元気に声をかけ合いながら5時間ほど汗を流した。

練習は午前9時に室内練習場でスタート。主力選手は入念なウォーミングアップで体をほぐした後、打撃練習でスイングを確認し、午後にはグラウンドで守備練習を行った。

仲井宗基監督は練習後のミーティングで「しっかり練習をやり込んで戦いに向かおう」と選手たちを鼓舞。決勝で四番を張った野呂洋翔(ひろと)は「チームとしても個人としても課題は得点力。甲子園では『打の光星』を見せつけたい」と気合を入れた。

25日には市内の同校中庭で壮行式が開かれ、光星ナインは全校生徒や教職員に拍手で迎え入れられた。

主将の洗平歩人(あはら)が「皆さんの応援で勝ち抜くことができたと感謝を述べ、選手一人一人が甲子園への意気込みを語った。

全国高校野球選手権は、8月6日に兵庫県阪神甲子園球場で開幕。組み合わせ抽選は同3日に行われ、選手たちは同日、現地に向け出発する予定。

(野村遥)

全校生徒に拍手で迎えられながら入場する八学光星の選手たち。25日、八戸市湊高台

